

躍進が続いている時だからこそ、周囲に目を向け、振り返りを！

校長 大平 哲夫

周囲の予想を覆すゲームが多く見られているサッカーW杯を見聞きする中で、JAPANの活躍に一喜一憂し、選手団だけでなくサポーターの皆さんのゲーム中からゲーム後の動きに世界中から称賛の言葉をいただいていることに、何か自分事のように誇らしい気持ちになり、嬉しく思う自分がいます。

『来た時よりも美しく』・・・校外学習や部活指導をする中で生徒に意識させていたなあ・・・と思い出します。我が国では昔から教育の場や特にスポーツの指導場面ではよく使われているフレーズだと思います。国内を見渡せば、色々と課題もありますが、このように世界から称賛される動きや行動文化があることは素晴らしいと思いますし、未来へ継承していきたいことですね！

良いものは良いものとして続けていきたいですし、課題は克服・改善していきたい・・・生徒の皆さんや私たち教職員の成長も同じではないかな？と考えています。

創立50周年の本校では、皆さんの大躍進が続いています。目立つところでは部活動の好成績がありますが、それだけではなく、各種標語や作文のコンテストでも入賞者や入選者が出ていますし、各種行事での皆さんの一生懸命な取組の姿もそうです。

先月号でも触れた校内でのお互いの頑張りを認め、応援しようとする皆さんの温かい雰囲気これがこれを大きく後押ししているように感じます。

躍進し続けている今だからこそ、少し周囲に目を向けたり振り返ったりして、『結果は残せているけど、修正・改善すべき課題はないだろうか？』と自分の、自分たちの足元をチェックし、よりしっかりしたもの固めることも必要ではないかな？と思うのです。

12月10日(土)は『世界人権 Day』でした。(皆さん、調べてみてください！)

本校では例年、丁度期末考査終了後の時期が法務省の定める『人権週間』と重なってきます。先月当初に2年生各クラスで人権擁護委員の皆さんをお迎えして『人権教室』を実施しましたが、特段全校で何かをする訳ではなかったのも、あまり意識していなかった人もいるかもしれません。

躍進が続いている今だからこそ、皆さんも私たち教職員も『校内に、クラスに、部内に、人権を大切にしていない言動がないだろうか？嫌な思いや悲しい思いをしている人はいないだろうか？自分自身が思い上がって、人を見下したり、安易に傷つける言動を取ったりしていないだろうか？対等であるはずの友だちに甘えて、バランスの崩れた関係になっていないだろうか？』等々、周囲に目を向け、振り返り、修正・改善をした後、また前進していくことがとても大切だと考えます。

誰かが人知れず悲しみ、犠牲になっているような、一部の人の栄光や躍進や成長よりも、皆がそれらを得られる方が良いに決まっています・・・そんな長二中をめざしましょう！

3年生は、人生初といっても良い進路選択の時期が目前に迫ってきていますね既に進路先が決まった人もいますが、学年皆で協力し、励まし合って、努力を継続していきましょう！

保護者・地域の皆さま方、今年1も本校教育活動へ多大なるご理解・ご支援を賜り、ありがとうございました。12月は三者懇談会等でお世話になりますが、よろしくお願い致します。

今後も応援していただける長二中をめざします。

未だコロナも心配ですが良いお年をお迎えください。